

アフターサービスについてのお願い

製品名 CUSTOM KOBO
ミニデルターサンダー EDS-100
品番 820717

1) 機械の性能・品質または取扱などについてのお問い合わせは、ご購入いただきました販売店または弊社までご連絡ください。

2) 修理に必要な純正部品は、本体各部の名称の図に記載された部品名をお確かめになり、ご要求願います。

①ご要求の経路につきましては、

お客様 → ご購入いただきました販売店 → 弊社

②お届けの経路につきましては、

弊社 → ご購入いただきました販売店 → お客様

※弊社とお客様との直接販売は致しかねますので、ご了承ください。

3) 修理及び修理のお見積のご依頼は、

①ご要求の経路につきましては、

お客様 → ご購入いただきました販売店 → 弊社

②修理完了後のお届け及び修理見積のご返事は、

弊社 → ご購入いただきました販売店 → お客様

※弊社とお客様との直接決済は致しかねますので、ご了承ください。

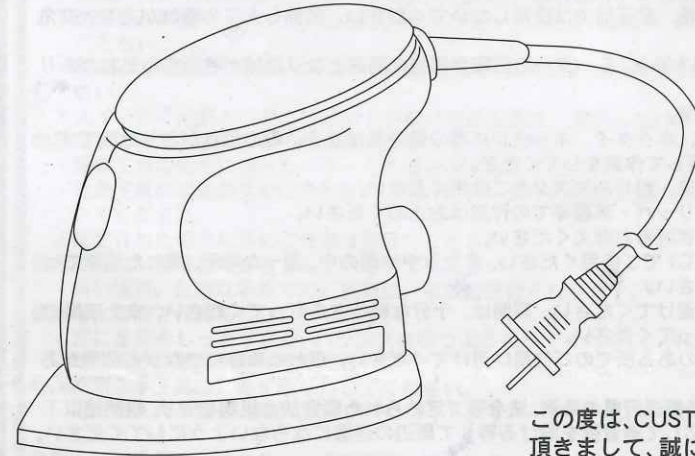
連絡先 株式会社三共コーポレーション 本社物流センター
奈良県葛城市新町258番地1
TEL:0745-62-1221 FAX:0745-62-1777
受付時間 午前 9:00～午後 5:30(土日祝日と弊社休日を除く)



カスタム コウボウ
CUSTOM KOBO

ミニデルターサンダー EDS-100

取扱説明書



この度は、CUSTOM KOBO商品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読み頂き、本機の性能を充分にご理解のうえで、適切な取扱と保守をして頂きますようお願い致します。なお、本書は大切に保管してください。

仕様

定格電圧	100V
定格消費電力	105W
定格電流	1.1A
定格周波数	50/60Hz
定格時間	20分
回転数	0~12,000min ⁻¹
本体質量	約1.0kg
コード長さ	約3.0m
回 二重絶縁構造	

回 二重絶縁構造

二重絶縁構造とは使用者と電気の回路間を二重に絶縁する構造状態をいいます。感電からの安全性が高く、アースを必要としません。

●商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電動工具の安全上の注意

- この説明書は危険を防止するために、製品を正しく安全にご使用いただくためのものです。
- 注意事項「▲ 警告」と「▲ 注意」に区別しています。「▲ 警告」は、誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。いづれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。「▲ 注意」は、使用者が負傷を負う可能性及び、物的損害等のみ発生が想定される内容として記載しています。「▲ 注意」に記載した事項でも、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。

▲ 警告事項

- 本機の電源はAC100Vで使用してください。
 - ・直流電流やエンジン発電機、変圧器では使用しないでください。発熱し火災の恐れがあり大変危険です。
 - ・誤って200Vの電源を使用すると、モーターの回転が異常に高速となり機械が破損する恐れがあり大変危険です。
- 作業に当たり安全が第一です。
 - ・手袋や袖口の開いた服装、ネクタイ、ネックレス等の装身具は巻き込みの恐れがあり危険です。
 - ・保護マスク、メガネを着用して作業をしてください。
 - ・粉じんの多い作業の場合は、粉じんマスクをご使用ください。
 - ・足場の安全のために、スリッパ・草履等での作業はお止めください。
- 作業場一体、周辺環境、状況もお考えください。
 - ・電動工具は常温(10~40℃)でご使用ください。また水中や雨の中、湿った場所、濡れた場所では絶対に使用しないでください。
 - ・暗いところでのご使用は避けてください。照明は、十分な明るさを取ってください。また夜間の作業も、十分に照明を取ってください。
 - ・可燃性の液体や、ガス等のある所でのご使用は避けてください。思わぬ事故につながる危険があります。
 - ・騒音の大きい作業では、各都道府県の条例、法令等で定められた騒音防止規制を守り、規制値以下で使用するよう、状況に応じて遮音壁を設ける等して周辺の迷惑にならないようにしてください。
- 埋設物の点検
 - ・作業開始に当たり、特に家屋等の壁や、床等の場合は、埋設物(電線管、水道管、ガス管等)の配線・配管をよくご確認の上行なってください。接触による感電、水漏れ、ガス漏れの恐れがあり、大変危険です。
- プラグを電源に差し込む時
 - ・まず先に、電動工具のスイッチが入っていないことをご確認の上、プラグを差し込んでください。
- 加工する素材はしっかりと固定してください。
 - ・クランプ、万力等で動かないようにしっかりと固定してください。手で固定するより安全に電動工具を使用することができます。
- 感電にご注意ください。
 - ・電動工具の使用中に、電気の通っている、一般で言う電気製品等(冷蔵庫、暖房器具、洗濯機等)に接触すると、身体に感電する恐れがあり、危険です。
 - ・コードが二重絶縁になっていない製品は、必ず接地(アース)してください。
- 研磨時には、顔や身体を近づけないようにしてください。
- 下記場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・点検、使用していない時、停電が起きた場合、部品を交換する時。
 - ・その他、危険が想定される場合。
- 慎重に、注意して作業を行ってください。
 - ・電動工具を使用するに当たり取扱方法、作業の仕方、周囲の環境や状況を十分注意して、慎重に作業を行ってください。
 - ・常識の判断を持って作業をしてください。
 - ・身体の疲れ等、思考力の無い時は作業をしないようにしてください。
- 作業後は、研磨面が大変熱くなっています。ヤケドの恐れがありますので、手、肌を触れないようにしてください。

- 思いつきや不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、指をスイッチに掛けて運ぶと誤作動の原因となります。スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 散らかったゴミの除去は、スイッチを切り、電源を抜き、モーターが完全に止まっていることをご確認の上、行ってください。
- お子様を近づけないでください。
 - ・作業以外、電動工具やコードには絶対に触れさせないでください。
 - ・作業以外、作業場へ近づけないようにしてください。

▲ 注意事項

- 損傷がないか点検してください。
 - ・ご使用前に、電動工具本体や可動部分の位置調節、及び取り付け部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか、正常に運転するか十分にご確認の上、ご使用ください。
 - ・損傷した電動工具の修理、その他の部品交換は、お買い求めの販売店または修理店に依頼してください。
 - ・スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- 無理なご使用、能力を超えたご使用は避けてください。
 - ・電動工具の能力に合ったパワーで作業を行ってください。
 - ・電動工具の本来の目的に合わない接続/兼用は、大小の電動工具にかかわらず、作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外のご使用は避けてください。
- 作業場は、整理整頓をきちんと行なってください。
 - ・狭い場所、乱雑な場所でのご使用は、事故の原因となります。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。特に、脚立など足場の不安定な場所での作業は注意してください。
- 調節時の手工具は、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたペンチ、ドライバー等、手工具が、取り外してあることをご確認ください。
- 指定の付属品やアクセサリをご使用してください。
 - ・本取扱説明書およびカタログに記載されている付属品やアクセサリ以外の物を使用すると、事故や故障の原因になる恐れがありますので、使用しないでください。
- コードは大切に扱ってください。
 - ・コードを電動工具に巻きつけたり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のところがたつ所に近づけたりしないでください。
 - ・たこ足配線は、漏電、火災の原因の恐れがあり危険です。
- 本機を落したり、ぶついたりすると故障の原因となる上、ショートによる発火や破裂を起こすことがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。誤って落したり、ぶつけた時は破損、変形がないことをご確認ください。

延長コードの使用について

- ・延長コードは、損傷の無いものをご使用ください。
- ・コードを延長する場合十分な太さで、できるだけコードを短く、目安としては、電動工具に付随している被覆と同等の太さの物をご使用ください。
- ・延長コードはできるだけ短いものをご使用ください。長くしたり細いコードを使用しますと電圧が低下して正常な回転をしません。
- ・屋外で使用する場合は、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードをご使用ください。
- ・コードリールを利用される場合は巻いたままの状態で使用しますと熱を持ちますので、コードを全部引き出してご使用ください。

サンディングペーパー取付方法

●サンディングペーパーの取り付け・取り外しの際は、スイッチをOFFにして、プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用するサンディングペーパーを用途に合わせてお選びください。<図1>
- ベースの穴とサンディングペーパーの穴を合わせて、ベース側に押し付けて取り付けてください。<図2>
- ベースにサンディングペーパーがきっちり貼り合わさっていることを確認の上、ご使用ください。

図1

作業内容	サンディングペーパー	
	荒削	仕上
塗装はがし	#80	#180
塗装面研磨	#120	#180
木材研磨	#80	#180
金属研磨	#80	#180

※この表はあくまでも目安です。作業を行う前にテスト使用してから作業を開始してください。

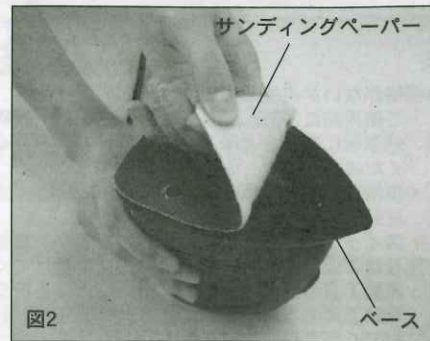


図2

※別売の磨き用ペーパーを使用すると、磨き用としてもご使用いただけます。

保守点検について

●部品交換やお手入れの前にスイッチを切ってください。
プラグを必ず電源から外してください。ケガや感電の原因となります。

- 付属品の交換は、取扱説明書に従って行ってください。
- 取り付けネジの点検
ネジ等のゆるみがないかを点検し、ゆるんでいる箇所があったらよく締めてください。そのまま使用すると危険です。
- 使用後はお手入れをして、いつも使用できる状態で保管してください。
 - ・使用しない場合でも定期的に点検を行ってください。
 - ・使用中内部に研磨屑や細かい材料ゴミが入ります。使用後はお手入れをしてください。
 - ・コードは定期的に点検し損傷があった場合、お買い求めの販売店または修理店に依頼してください。
 - ・コードのプラグは、ほこりや水気がないように、乾いた布等でこまめに拭き取ってください。
 - ・本体ハンドル部は常に乾かし、きれいな状態を保持してください。水・油やグリース等が付着すると滑りやすく大変危険です。
- 本機は水洗いできません。使用後は油汚れなどを拭き取るか、または乾いた布や石鹸水を布につけて、汚れを拭き取ってお手入れしてください。
 - ・ガソリン・シンナー・石油類は本体を傷めます。絶対にお止めください。
- 直射日光の当たる場所や、屋外に保管しないでください。濃霧、湿気、雨の当たる場所や、温度が急激に変化する所に保管しないでください。なお、おお客様の手の届く箇所、または落下の恐れのある箇所は避けてください。
- 故障・修理の場合は、お手数ですがご購入店にお持ちください。または、アフターサービスについてのお願いの連絡先にご相談ください。
 - ・本製品は安全規格に適合していますので、改造しないでください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、事故やケガの原因となりますので、絶対にお止めください。

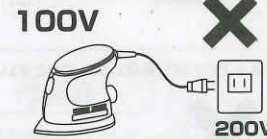
ミニデルターサンダーの使用上の注意

●ミニデルターサンダーのご使用に際し、次に述べる警告・注意事項を守ってください。

警告事項

- ご使用中は本体をしっかり握って作業してください。研磨中はしっかり握っていないと、ケガの原因となり大変危険です。
- 作業中にいつもと調子が違っていたり異常な音がした時は、速やかにスイッチを切り、作業を中断してください。そのままご使用になりますと、ケガの原因となります。
- 加工する素材はしっかり固定してください。小さな素材はクランプ万力などで動かないように固定してください。ケガの原因となります。

本機は100V用です。誤って接続した場合、モーターの回転が速くなるなど破損の原因となります。使用電源は、銘版に表示してある電圧でご使用ください。



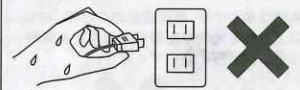
身軽な服装で、作業を行ってください。袖口の広い服や軍手・ネクタイなど回転部に巻き込まれてしまう恐れがあります。また安全のため保護マスク・保護メガネ等をご使用ください。



水分や湿気等を避けてご使用ください。また、研磨液はご使用にならないでください。



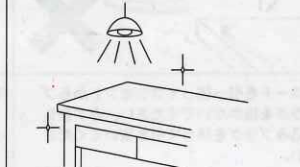
濡れた場所や湿気の多いところ、雨の中でのご使用は感電する恐れがあります。濡れた手でプラグを触ったり、使用中にアース（接地：冷蔵庫や電子レンジ、パイプ等）に接触しないようにしてください。



使用中や、スイッチの開閉時に内部から火花が見えることがあります。火花は故障ではありません。またガソリン、シンナー、ガス、接着剤等の引火や爆発の恐れがある場所ではご使用にならないでください。



作業場はいつもきれいに整頓し、十分な照明が必要です。



各都道府県の条例、法令等で定められた騒音防止規制を守り、規制値以下で使用できるように、状況に応じて遮音壁を設ける等して周辺に迷惑をかけないようにしてください。



無理な姿勢での作業や足場の不安定な場所での作業は事故につながる恐れがあります。また高い場所での作業は下に危険がないか注意し、工具の落下などがないようにご注意ください。



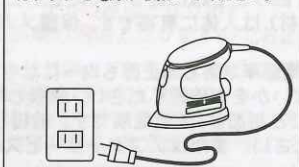
作業開始に当たり、電線管、水道管、ガス管等の埋設物との接触による、感電や水漏れ、ガス漏れの恐れがありますので、あらかじめ埋設物の有無をご確認の上作業を行ってください。



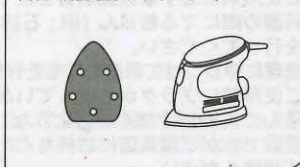
取扱説明書に記した以上の無理な作業を行わないでください。製品の損傷の原因や危険を招きます。



先端工具を交換する場合、作動すると危険な場合や、本機をご使用にならない時はプラグを電源から抜いてください。



使用前に本体や運転に影響を及ぼす全ての個所に異常がないか、正常に運転するか十分に点検確認してください。



本体各部の名称及び付属品

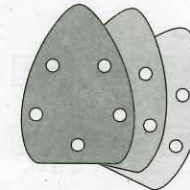
本体各部の名称

ON/OFFスイッチ



付属品

- サンディングペーパー
粗目 #80 1枚
中目 #120 1枚
細目 #180 1枚



※交換用サンディングペーパーをお買い求めの場合は、ご購入店にお問い合わせください。

特長

- コンパクトサイズ
小回りが効き、操作性に優れています。
- 研磨具交換
マジックテープ式で研磨具取り付け・取り外しが簡単です。

用途

- コーナーなどの狭い箇所・面の小さな箇所の塗装がし、サビ落とし、研磨など

研磨方法

警告!

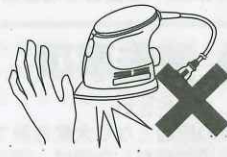
- ・加工材は確実に固定してください。特に小さいものを加工する場合はバイスなどで動かないように固定してください。加工材が不安定ですとケガの原因となります。
- ・湿式研磨(水・オイルなど) 作業は感電の原因となりますのでお止めください。

1. スイッチを入れ、モーターの回転が十分に回ってから加工材にペーパー面をムラなく当て、円を描くように一定のスピードで移動させ、研磨作業を行ってください。
2. 作業後、本機を持ち上げスイッチを切り、モーターの回転が完全に停止してから本機を置いてください。
※無理に押し付けて研磨すると作業効率が落ち、加工面も均一にならず、ペーパーの破損や本機の故障の原因となります。
※サンディングペーパーを取り付けずに使用すると故障の原因となります。
※サンディングペーパーは使用目的に合わせたものをお選びください。

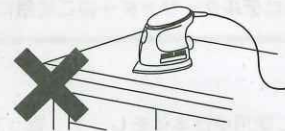
本機の風窓はモーターを冷やすためのものです。埃が飛ぶからといってモーターをふさいでしまうとモーター内の温度が上昇し破損の原因となります。



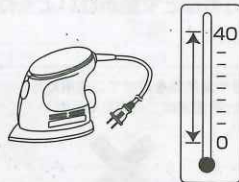
作業中は研磨面や加工材、それに伴う研磨屑に顔や手足を近づけないようにしてください。



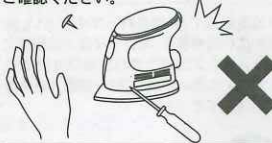
作動させたままテーブルや床に放置しないでください。



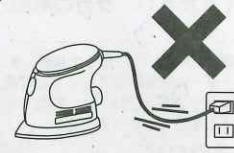
常温(0℃~40℃)でご使用ください。



異常を感じたらすぐに作業を中止し、自分で分解したり修理しないでください。誤って本機を落としたり、ぶつけた場合は傷がついていたり、変形していないかご確認ください。



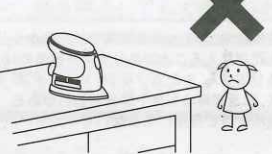
電源を入れたままの状態ですwitchに指をかけたまま持ち運んだりしないでください。



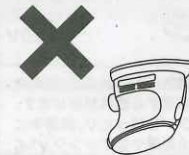
作業直後の加工されたものや研磨面は摩擦で大変熱くなっています。ヤケドの原因となりますので、冷めるまで触れないでください。



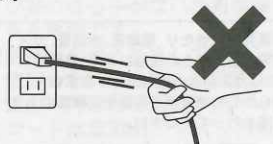
危険防止のため小さなお子様は近づけないようにしてください。



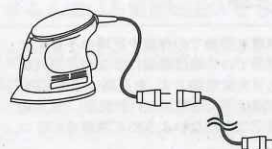
本機を上方向に使用しないでください。



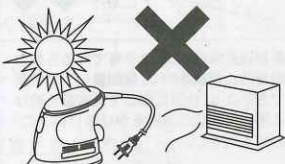
コードを引っ張ってコンセントからプラグを抜かないでください。必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。



延長コードが必要な場合は本体のコードと同じ被覆を施したもので、できるだけ短くご使用ください。



本機は車の中や、暖房機具のそば等、40℃以上になる場所や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。



⚠ 注意事項

- 本機はDIY用です。
- 本機の目的は木材・金属研磨、サビ落とし等の乾式平面研磨の電動工具です。
- ご使用前に必ず取扱説明書をよく読み、それに従ってください。
- 研磨の際にでる粉じん(例:石綿材)は人体に有害です。保護メガネ、粉じんマスクをつけて作業を行ってください。
- 無理に押しつけて研磨すると作業能率が落ち加工面も均一にならず、本機の寿命も短くなります。
- ご使用前にプラグが破損していないかをご確認ください。破損していると、簡単に抜けたり、差し込んだまま抜けなくなるようなことがあります。大変危険です。破損していたり、故障した場合は、お手数ですがご購入店にお持ちください。またはアフターサービスについてのお願いの連絡先までご相談ください。